

熱 監 第 35 号

令和 5 年 3 月 28 日

熱海市長 齊 藤 栄 様

熱海市監査委員 山 田 義 廣

熱海市監査委員 竹 部 隆

令和 4 年度定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

## 第1 監査の概要

### 1 監査の種類 定期監査

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査。

なお、本監査は熱海市監査基準に基づいて実施した。

### 2 監査の対象及び実施日

観 光 建 設 部	まちづくり課、都市整備課、公園緑地課
市 民 生 活 部	市民生活課、協働環境課、税務課、危機管理課
健 康 福 祉 部	長寿介護課、社会福祉課、健康づくり課

監査実施日 令和5年1月12日（木）13日（金）

### 3 監査の期間 令和4年12月14日から令和5年3月28日まで

### 4 監査の範囲 令和4年4月1日から同年4年10月31日までに執行された事務事業

### 5 監査の内容及び着眼点

監査に当たっては、財務に関する事務の執行が適正かつ正確に行われているか、また、経営に係る事業の管理に関し、少ない費用で最大限の成果を得ているか等、合理的かつ能率的に行われているかを主な着眼点として監査を実施した。

なお、より効果的な事務の執行を図るために、次の事項について留意した。

- (1) 予算の執行は、法令や市のルール、計画に基づいているか。
- (2) 予算の執行、収入・支出等の会計処理、契約締結等の財務事務及び財産の管理は諸規定に基づき適正に処理されているか。
- (3) 前回の監査において、事務処理上の是正・検討を求めた事項が改善されているか。
- (4) 令和4年度施政方針の主要施策に基づく重点事業は、遅滞無く効率的かつ効果的に実施されているか。
- (5) 職員の時間外勤務について、①時間外勤務が基準を超えていないか。②職員間の偏りはないか。③時間外勤務の適正な管理及び縮減に向け取り組んでいるか。
- (6) 公金の取扱いを行っている場合、①預金通帳及び届出印は別々の職員が管理し、適正に保管されているか。②金銭出納簿、預金通帳残高、領収書内容が一致しているか。③複数の担当者によるチェック体制は整っているか。

## 6 監査の実施方法

あらかじめ提出された監査資料及び関係帳票を審査するとともに、所属長及び関係職員から、予算及び事務事業の執行状況等の説明を聴取し質疑応答により実施した。

## 第2 監査の結果

監査対象となった事務事業は、所期の目的に沿った執行が進められており、その経理手続き、事務処理は概ね適正と認められた。監査結果の概要は、後述のとおりである。

なお、指摘事項に当たらないまでも、事務処理上留意すべき軽微な事項については、監査執行の際に口頭にて是正を求めたところであり、これらの事項については、速やかに対処されたい。

### 《監査結果について》

監査の結果として示されるのは、①指摘事項、②指導事項及び③意見の3種類である。

#### ① 指摘事項

法令、条例、規則等に違反している事項又は経済性、効率性若しくは有効性の観点から改善を要する事項など、指摘すべき事項として、地方自治法の規定に基づき監査結果で報告し、公表するものである。

#### ② 指導事項

上記①以外で、軽微な誤りと認められる事項等である。

#### ③ 意見

監査の結果に必然的に伴う、各業務に対する監査委員の意見（要望事項）である。

#### (注意)

- 1 文中の金額は、原則として千円未満を切捨てし、千円単位で表示したため、差額が一致しない場合がある。
- 2 文中の比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。  
また、99.95%～99.99%の場合、99.9%としてある。
- 3 減数または負数は「△」で表示している。

## 【市民生活部】

### 市民生活課

市民室、南熱海支所、泉支所、保険年金室が置かれ、職員は課長以下41人（うち会計年度任用職員11人）である。

#### 1 予算の執行状況

##### (1) 一般会計

###### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
390,159,000	15,384,132	14,820,412	563,720	3.8	96.3

###### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,365,190,000	577,038,838	788,151,162	42.3

##### (2) 国民健康保険事業特別会計

###### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,392,293,000	1,831,206,624	1,580,015,209	251,191,415	36.0	86.3

###### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
5,098,620,000	2,044,976,266	3,053,643,734	40.1

##### (3) 後期高齢者医療事業特別会計

###### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
929,216,000	714,541,453	338,433,153	376,108,300	36.4	47.4

###### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
929,216,000	323,555,154	605,660,846	34.8

## 2 指摘事項・指導事項・意見

### 【意見】

・高齢化率が高い熱海市では、複雑な申請手続に苦慮されていることなどによりマイナンバーカード交付率は、令和4年10月末までの人口割合に対し51.4%、申請件数では66%の状況にあり、県内市町のなかでも交付率が伸び悩んでいる状況にある。

本庁及び支所にて月に1度日曜日の開庁や、本庁での夜間の時間外交付を行う等、普及促進に努められている。

日常業務との並行で業務量も増加していると推察されるが、カード取得の利便性を向上できるよう多様なサービスの提供に向け関係部署と連携し、より良い市民サービスに繋がるようその都度方策を検討されたい。

・団塊の世代が75歳以上となり始め医療費の急増が見込まれるなか、制度改正に伴い令和4年10月より、新たに医療費の窓口負担に2割負担が加えられた。医療費の算定は静岡県後期高齢者医療広域連合で行われるものだが、市民からの問い合わせ等については、静岡県後期高齢者医療広域連合と連携を密にしながら、被保険者に対して理解を得られるよう最新の情報提供と的確な説明を引き続き対応されたい。

### 協働環境課

市民協働推進室、生活環境室、廃棄物等の収集処理施設である環境センターが置かれ、職員は課長以下28人（うち会計年度任用職員5人）である。

## 1 予算の執行状況

### (1) 一般会計 市民協働推進室・生活環境室

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
149,687,000	18,420,980	67,539,660	△49,118,680	45.1	366.6

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
102,109,000	30,413,626	71,695,374	29.8

(2) 一般会計 環境センター

歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
354,846,000	25,889,372	25,504,725	384,647	7.2	98.5

歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,880,462,000	457,574,169	1,422,887,831	24.3

(3) 初島漁業集落排水処理事業特別会計

歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
32,300,000	3,049,356	3,411,237	△361,881	10.6	111.9

歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
32,300,000	11,345,870	20,954,130	35.1

2 指摘事項・指導事項・意見

【意見】

・熱海市町内会長連合会補助金について担当部署より聴取したところ、収入源は補助金と繰越金のみであるとのことであった。年度当初に多額の金額を要すとのことであるが、例年、繰越金が多いことから、事業内容等に補助交付額が見合うよう精査し成果の確認を適正に行うよう努められたい。また、誤解や疑義が生じないよう透明性を確保するとともに、市民に対し自治活動について広く周知し参加しやすい環境整備が図られることを望む。

・熱海市では、2050年を目途としたゼロカーボンシティ宣言により、令和4年度より令和13年度までの10年間を計画期間とする「熱海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を含む「第三次熱海市環境基本計画」を策定している。熱海市の目指す「未来へつなぐ 海と山と湯のまち熱海」の環境像実現に向け地球温暖化に対する意識醸成を図るべく、市、事業所、市民、観光客等との連携を高め、官民一体となって取り組んでいただきたい。

税務課

課税室、納税室が置かれ、職員は課長以下35人（うち会計年度任用職員4人）である。

1 予算の執行状況

(1) 一般会計

歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,093,227,000	9,742,999,463	6,544,963,254	3,198,036,209	72.0	67.2

歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
137,447,000	55,707,085	81,739,915	40.5

【市税の内訳】

(単位：円・%)

款・項	令和4年10月末			令和3年10月末	対前年度対比	
	予算現額	調定額	収入済額(A)	収入済額(B)	(A)-(B)	比率
市 税	8,980,613,000	9,696,537,380	6,531,414,026	5,889,575,930	641,838,096	10.9
市民税	2,184,187,000	2,499,895,644	1,380,233,053	1,253,679,326	126,553,727	10.1
個人市民税	1,806,153,000	2,278,822,424	1,157,175,983	1,018,100,326	139,075,657	13.7
法人市民税	378,034,000	221,073,220	223,057,070	235,579,000	△12,521,930	△5.3
固定資産税	4,660,222,000	5,133,619,962	3,519,621,781	3,196,512,895	323,108,886	10.1
軽自動車税	84,578,000	95,131,075	83,301,460	80,349,199	2,952,261	3.7
市たばこ税	307,930,000	229,560,365	229,560,365	179,936,787	49,623,578	27.6
別荘等所有税	522,581,000	577,409,797	464,784,480	451,761,115	13,023,365	2.9
入湯税	329,108,000	176,252,180	182,569,650	115,004,450	67,565,200	58.8
都市計画税	892,007,000	984,668,357	671,343,237	612,332,158	59,011,079	9.6

(2) 国民健康保険事業特別会計

歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
841,788,000	1,187,473,219	521,895,534	665,577,685	62.0	44.0

歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
26,907,000	9,760,929	17,146,071	36.3

【国民健康保険税】

(単位:円・%)

款・項	令和4年10月末			令和3年10月末	対前年度対比	
	予算現額	調定額	収入済額(A)	収入済額(B)	(A)-(B)	比率
国民健康保険税	838,081,000	1,187,473,219	514,677,893	490,907,148	23,770,745	4.8

2 指摘事項・指導事項・意見

【意見】

・ 前回監査の意見とした年末調整や確定申告で要する国民健康保険税納付額の把握について、令和3年度から納付済額を記載した通知書を郵送対応されたほか、多様化するキャッシュレス決済に応じて令和4年4月からスマートフォンアプリによる市税の納付環境が整備されたことにより、納税者の利便性向上と収納率の向上が図られた。今後も導入効果を検証しつつ、納付方法の改善に向け更なる取組に努められたい。

・ 現金の取扱状況について実査したところ、「公金等の保管に係る庁内ルール」に則り、現金の取扱い並びに金庫及び鍵の保管については、適正に管理されていたほか、切手や金券等の取扱いについても、鍵の掛かる金庫で保管されており、管理簿による枚数管理が行われていた。釣銭を含めて常に現金を取扱う部署にあることから、引き続き、職員の意識付けと日々の現金取扱金額の確認を徹底されたい。



## 危機管理課

危機管理室が置かれ、職員は課長以下6人が配置されている。

### 1 予算の執行状況

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
11,165,000	20,006,480	20,006,480	0	179.2	100.0

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
77,842,000	18,623,813	59,218,187	24.0

### 2 指摘事項・指導事項・意見

#### 【意見】

・近年、日本各地で大雨による様々な水災害が発生し、今後も災害の多様化、頻発化が懸念されるなか、令和3年7月の伊豆山土石流災害の発生以来、市民の災害への関心も高まっている。

熱海市は高齢者も多く個々の事情も異なることから、自己の安全と時間的余裕が必要不可欠であり、重要となるのは防災力、対応力、及び市内の強靱化である。静岡県と共に「わたしの避難計画」の普及促進に取り組み、市、住民、関係機関との連携を強化し、市全体の防災意識が更に高められるよう期待する。

## 【観光建設部】

### まちづくり課

都市計画室、住宅室、建築室が置かれ、専門監が建築室長を兼務しており、職員は課長以下23人（うち会計年度任用職員1人）とである。

そのうち、伊豆山土石流災害の復旧・復興に従事する1名の技術職員が県から派遣されている。

#### 1 予算の執行状況

##### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
522,892,000	158,308,437	73,893,340	84,415,097	14.1	46.7

##### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
907,440,000	351,821,288	555,618,712	38.8

#### 2 指摘事項・指導事項・意見

##### 【意見】

・市営住宅については、笹良ヶ台市営住宅1・2号棟の用途廃止にかかる入居者の移転事業が終了し、引き続き令和4年3月に公表された「立地適正化計画」及び「熱海市公営住宅長寿命化計画」に基づき、将来都市構造に沿った市営住宅の集約化に向け推進されている。一方で、市営住宅使用料の滞納額は、令和元年度の監査時に比べ「熱海市債権管理条例」に基づく債権放棄の実施により減少したものの、依然として2,000万円を超える状況にある。入居者の多くに高齢者が占めるなか、管理業務も今や膨大な事務と推測されるが、公平性の観点からも引き続き滞納整理業務について励まれるとともに、長期的な事案ではあるが市営住宅の効率的な維持管理に向け方策を検討されたい。

・空家対策については、平成30年度より老朽危険空家除去事業を実施しているが、新規の発生抑制に向け、令和4年度より空家の所有者を訪問し管理等の意識調査を業務委託するなど、市内の管理不全空家等を減少させ、地域の住環境の向上及び安全安心なまちづくりへ向け努められている。今後、更に深刻化が予想される空家問題に市役所関係部署や民間団体と連携し、空家の利活用を推進されたい。

## 都市整備課

総務用地室、都市整備室が置かれ、職員は課長以下16人（うち会計年度任用職員1人）である。

そのうち、伊豆山土石流災害の復旧・復興に従事する3名の技術職員が都市整備室に2名、総務用地室1名が他市より派遣されている。

### 1 予算の執行状況

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
416,811,000	84,104,994	79,445,164	4,659,830	19.1	94.5

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,166,497,400	163,186,160	1,003,311,240	14.0

### 2 指摘事項・指導事項・意見

#### 【意見】

・高度経済成長期に整備された橋梁の多くが更新時期を控え、これらの維持管理、更新費用等の増加とともに、重大な事故への発生リスクの高まりが想定される。

「熱海市橋梁長寿命化修繕計画」に基づく定期点検に加え、最新の点検結果を反映した計画の更新を行うなど優先順位の見直しを意識し、限られた資源や予算を計画的かつ効果的に活用し、市民生活の安心安全である環境が保持されることを望む。

## 公園緑地課

維持管理室、計画室が置かれ、職員は課長以下14人（うち会計年度任用職員2人）である。

### 1 予算の執行状況

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
222,163,000	51,726,256	44,579,330	7,146,926	20.1	86.2

歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
486,846,000	214,933,696	271,912,304	44.1

## 2 指摘事項・指導事項・意見

### 【意見】

・主要事業である梅園整備事業、熱海七湯整備事業は、昨今の社会情勢等により工期や納期が遅れていたが、年度内の竣工に向け進められていた。梅園は古くからの歴史ある場所であり貴重な観光資源でもある。また、熱海七湯整備事業は「観光地エリア景観計画」の糸川・初川周辺エリアに含まれ、熱海駅から観光客の回遊性向上を目指した事業のひとつである。関連部署と連携を図り、観光資源と共生しながら市民がより一層の誇りや愛着を持ち、日常的に利用することができるような環境整備を進められるとともに経済効果も期待できる魅力ある事業となるよう努めていただきたい。

## 【健康福祉部】

### 長寿介護課

長寿総務室、長寿支援室、介護保険室が置かれ、職員は課長以下31人（うち会計年度任用職員10人）である。

#### 1 予算の執行状況

##### (1) 一般会計

###### 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
215,131,000	108,371,141	72,621,091	35,750,050	33.8	67.0

###### 歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,247,285,000	436,883,920	810,401,080	35.0

##### (2) 介護保険事業特別会計

###### 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,779,991,000	3,409,098,930	2,857,385,829	551,713,101	49.4	83.8

###### 歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
5,682,224,000	2,479,296,149	3,202,927,851	43.6

## 【介護保険料】

(単位：円・%)

款・項	令和4年10月末			令和3年10月末	対前年度対比	
	予算現額	調定額	収入済額(A)	収入済額(B)	(A)-(B)	比率
介護保険料	1,081,471,000	1,075,088,330	531,311,230	546,953,880	△15,642,650	△2.9

## 2 指摘事項・指導事項・意見

### 【意見】

・県内でも早期となる重層的支援体制整備を令和5年度からの本格事業実施に向け、準備されている。既存の相談体制支援等の体制を活用しつつ、新たなつながりや分野を超えた関わりへ拡充されることにより当該者に寄り添った包括的な支援体制が構築されることを期待したい。

・介護保険料の未済額の改善について、年金受給の権利があるにもかかわらず、受給をしていない介護被保険者に対し、他部署と連携を図り年金受給手続きに繋げる等、被保険者のためだけでなく収納率の向上の為、業務改善に努められたことを評価したい。

今後とも、他部署との連携を密にし情報の共有化、事務の効率化に図られたい。

## 社会福祉課

子育て支援室、障がい福祉室、生活保護室が置かれ、職員は課長以下35人（うち会計年度任用職員等（子育てサロン含む）15人）である。

### 1 予算の執行状況

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,105,982,000	1,483,375,417	1,322,111,643	161,263,774	62.8	89.1

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,111,999,000	1,551,549,619	1,560,449,381	49.9

### (2) 介護保険事業特別会計

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
267,000	0	267,000	0.0

## 2 指摘事項・意見

### 【意見】

・生活困窮、社会的孤立といった様々な課題が増加傾向にある中で、生活困窮者自立支援事業では相談支援体制が確立され、複合的な課題解決に向け取組まれている。相談者のニーズも従来に増して多様化していることから、円滑な支援の提供ができるようネットワークの強化にも努められたい。

また、令和5年度中の実施に向け地域における生活支援の拠点整備を進められているが、障がい児者の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、障がい児者が地域社会の中で生活していく環境整備は当市においても重要な課題である。先進市の事例等を参考にするなど関係機関及び近隣市町との情報共有、連絡調整体制を充実させ、地域における生活の安心感を担保する機能を備えたより良いサービスの提供に繋がるよう励まれたい。

### 健康づくり課

健康づくり室、新型コロナウイルスワクチン接種対策室、スポーツ推進室、初島診療所が置かれ、健康づくり室長は新型コロナウイルスワクチン接種対策室長を兼務し、新型コロナウイルスワクチン接種対策室主幹1名は健康づくり室主幹を兼務している。

職員は課長以下25人（うち会計年度任用職員5人）である。

## 1 予算の執行状況

### (1) 一般会計

#### 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
311,799,000	2,475,716	2,434,246	41,470	0.8	98.3

#### 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
634,741,000	227,741,552	406,999,448	35.9

(2) 国民健康保険事業特別会計

歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
17,011,000	0	0	0	0.0	0.0

歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
37,630,000	18,108,372	19,521,628	48.1

2 指摘事項・指導事項・意見

【意見】

・県内でも特に受診率の低い子宮頸がん検診においては、ナッジ理論を用いた新たな受診勧奨を行い啓発を図っている。受診率の低い世代の関心を引き、健診を受ける契機となるよう期待し、引き続き、市民の健康管理とがんの早期発見にもつながるよう受診率向上に向け取組まれない。

・新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種をはじめ感染症を取り巻く状況変化に対応したスピード感ある支援が求められ、柔軟かつ迅速に講じられた。一方で、新型コロナウイルス感染にかかる自宅療養者への食糧支援の案内が十分ではなかった等の声も聞かれることから、適時適切な情報発信と支援の提供に努められたい。



## 【総括】

### 【意見】

時間外勤務について

時間外勤務については、伊豆山土石流災害による復旧・復興関連業務といった時間外勤務がやむを得ない業務がある一方、通常業務によるものも見受けられ、一部では時間外勤務が常態化していること、また時間外勤務における命令・確認といった手続きが形骸化した様子も伺えた。

室内の職員間の時間外勤務時間に大きな偏りがある部署では、業務に精通した特定の職員やベテラン職員に業務が偏る傾向もあり、このような場合、当該職員の異動等により組織としての事務機能の維持に支障がでるおそれも考えられることから、所属長は、室内での業務の平準化・情報の共有化を進め、特定の職員に過度に依存することにより業務がブラックボックス化することの防止に努められたい。

また、時間外勤務については、「熱海市職員の勤務時間、休暇時間に関する規則」第9条の2の2により時間外勤務を命ずる時間及び月数の上限が段階的に定められているが、伊豆山土石流災害関連の業務等、上限時間の特例に適用し従事している職員も含め、監査時点での推察ではあるが時間外勤務が年間360時間を超えると見込まれる職員が一定数存在していた。

行政需要の多様化に加え、新型コロナウイルス感染症対策業務及び伊豆山土石流災害の復旧・復興関連業務の発生等、職員一人当たりの業務量は増加の一途をたどっており、健康面への影響も危惧される。これらを背景に恒常化しつつある時間外勤務について、所属長は職員の時間外勤務の原因を分析して職員配置や業務分担の再確認等を行っていただきたい。加え、職員のワーク・ライフ・バランスを充実させ、職員が健康で働ける職場環境のなかで住民サービスの向上に努められるよう求めるものである。